動画・SNS・ゲームの向き合い方

1. 保護者も子どもも知っておく必要のあるSNS利用時の注意点

●アプリの登録は慎重に。インストールは保護者の手で行いましょう

SNSやオンラインゲームなど、スマホ利用上のトラブルのほとんどはアプリの利用で起こります。子どもがアプリを欲しがっても、まずはそのアプリの年齢制限(「17+」など、多くはダウンロードボタンのそばに記載)や内容を保護者が確認して、問題が無い内容であれば許可するようにしましょう。表面上は問題なさそうでも、無料アプリは広告が表示され、その広告先がアダルトな内容であったり、課金のトラブルが発生することが多く報告されています。子どもをねらった犯罪などを防ぐために、年齢に応じた利用方法を守るように徹底させましょう。

●公開する内容を制限する

SNSの多くは、公開範囲を自分で選んで設定できます。最初のうちは「友達以外は非公開」にするなど公開を制限しましょう。慣れてきたら保護者と相談し、必要に応じて設定を変えていくとよいでしょう。

公開範囲を友達に制限しても、友達がリツイートしたり、別の SNS で公開してしまうなどでトラブルになるケースが多発しています。制限をかけても全世界に公開されてしまう可能性があることを念頭においておくことが肝心です。

●文章や写真を投稿する前に

文章や写真などを投稿する前には、必ずそれが不特定多数の人が見てもよいものかどうか考えるように注意させましょう。匿名だから、公開制限をしているからと、何でも投稿して良いわけではありません。

●友達のプライバシーや個人情報も守る

友達のことや写真をSNSにのせたい場合は、その友達の了解を得てから投稿しましょう。もちろん、友達の本名、電話番号、メールアドレス、住所、学校名など、個人の特定につながる情報を書き込むのはNGです。

●トラブルを招く発言とは

ウケをねらって大げさなことを書き込んだり、嘘やデマ、反社会的な行為(未成年者の飲酒・喫煙など)をアピールするような写真を投稿するなど、トラブルを引き起こすような発言を控えるよう注意させましょう。

●メッセージやチャットの止め時

友達とのLINE等を、仲間外れにされるのを心配して止められないことがあります。「食事やお風呂中はスマホ禁止」「夜9時(10時)になったらスマホの電源を切る」など、家庭でルールを決めたら、そのルールを友達にも伝えましょう。本当の友達なら、「家の決まりだから、また明日ね」と切り上げても、仲間外れにはしないはずです。

●知らない人からの誘い出しに注意

どんなにネット上で仲良くなって「直接会おう」と言われても、決して会ってはいけないことを伝えましょう。万一、悪意のある大人と接触して子どもが傷つくことがないように、誘い出しの危険について子どもと話し合っておきましょう。特に悩みや相談にのってくれた相手には心を許しがちで会いたい気持ちが出てきますので注意しましょう。

●家庭内ルールを作りましょう

市教育委員会より『よこすか　ケータイ・スマホスタンダード』が各家庭に配布されています。これを参考に親子で話し合い、家庭内のルールを作りましょう。ゲームによっては、時間で区切るより回数などのほうが良い場合もあるので、子

どもと話し合って決めましょう。また「勉強を1時間したらゲームを30分」などもありかもしれません。

●ゲーム機・スマホにフィルタリングやペアレンタルコントロールを設定しましょう

犯罪に巻き込まれる児童・生徒の多くは、フィルタリングが設定されていないと報告されています。現在は携帯会社からも年齢に応じたフィルタリングが用意されていますので、子どもを守るために必ず設定しましょう。

●オンラインゲームやアプリに注意

ネットで接続して遊ぶゲーム・アプリは、知らない人と繋がって、ボイスチャットやビデオチャットができたり、アイテム交換などもできる物も有るので注意が必要です。

●デジタルストーカーに注意しましょう

『投稿した顔写真の瞳に映っていた風景から、女性の自宅を特定した』という事件が実際にありました。ストーカーや犯罪者は、手間も時間もかけてでもやり遂げる執念を持っているので注意しましょう。

●ネット（オンライン）の世界に子どもも大人もありません。

ネット上では大人も子どもも区別が無いことがほとんどです。ゲームが下手だったりすると、チャットで罵詈雑言を浴びせられたり、味方なのにプレイヤーを攻撃されたりする場合もあるので、子どもは心に傷を負います。

●違反サイトがあることを伝えましょう

無料で読める漫画、無料で音楽がダウンロードできるなど、サイトによっては違法のものがあります。違法サイトからダウンロードすることは法律違反であることを子どもに伝えましょう。

●タレントや俳優などの画像を許可無く使うことは違法です

有名人のブログや公式サイトに掲載されている画像や動画を無断転載するのは違法です。また、芸能人の写真を自分のSNSのアイコンやヘッダに設定するのも違法です。

2. YouTubeの安全な視聴

子どもに見せたくない動画が YouTube 上にはたくさんあります。最初は問題無い動画を見ていても、おすすめ動画がたくさん出てきて、その中には不適切な動画が多く含まれている可能性があります。そのリスクから子どもを守りましょう。

●方法その1： YouTubeKids（子ども用）を利用する。通常のYouTubeは見せない。

●方法その2： 通常のYouTubeで見せる場合は、「視聴の制限付きモード」を利用する。そうすると全てではありませんが、不適切な動画や宣伝が映らなくなります。googleアカウントでログインし、

・PCの場合 『プロフィールアイコンタップ→タップして表示されたメニューの一番下にある制限付きモードオン』、

・スマホの場合 『プロフィールアイコンタップ→設定→全般（android）→制限付きモードオン』

3. Airdrop痴漢に注意

iphoneの『Airdrop機能』は使用する時以外は Off にしておく。iphone の登録名も本名にしない（性別もわからないようにすると良い）。電車内や繁華街などで、この機能を悪用して、近くにいる見ず知らずの人から『わいせつ画像』や『わいせつやナンパのメッセージ』などが送られてくる。相手側に名前がばれる可能性もあり。